出張報告書

平成29年4月7日

市議会議長 様

会 派 名 自民クラブ

代表者氏名 岡林 憲二

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 地方議員研修会 出席のため
- 2 出 張 先 東京都中央区
- 3 出張期間 平成29年3月30日～平成29年3月31日
- 4 出張者氏名 岡林憲二・池内矢一・反甫旭・烏野隆生・
井上源次
- 5 てん末報告 別紙の通り

日時：3月30日14:00～16:30

3月31日10:00～12:30

講師：樋渡 啓祐（元佐賀県武雄市長）

内容

○子どもの貧困対策

～子どもの貧困対策首長連合の事務局長として議員に伝えること

→子どもの貧困対策に関して武雄市の例もまじえながら、ご説明いただいた。武雄市では「子ども貧困対策課」を教育委員会に設置したようで、市長部局の福祉部門に置き、子どもの貧困は福祉というイメージになるのではなく、教育というファクターが大事だと考えたのが理由のようである。子どもの貧困という課題は説明の中にもあったが、全国的な課題であり、外見等ではわからない部分も多いので本市においても現状を調査し、そうした子どもへの支援の必要性を感じた。

○画期的なふるさと納税推進策

～制度開始からふるさと納税は、ここまで進化しています

→ふるさと納税の仕組みの説明と別府市の湯～園地計画と広島県神石高原町の犬の殺処分ゼロという事例の紹介があった。その中で、ガバメントクラウドファンディングの説明もあり、本市においてもふるさと寄付は取り組んでいるが、他市の事例等も調査しなければ、後れを取る結果となると痛感した。

○官民連携による地方創生

～人口減少社会の官民連携とはこれだ

→空き家バンクの取り組み、セキュリティフロント技術の取り組み、カブジチ構想の取り組みの三つのテーマを中心にご説明いただいた。特に興味深かった取り組みはカブジチ構想で概要を説明する。

株式会社自治体構想(カブジチ)構想は、民間の資金を地方に投入し、地方創生を行う民間会社を創設、ここで自治体の資源(ヒト・モノ・サービス)を、そのセールスマンをつくとともに、その自治体外からの外貨(国外だけでなく国内も)獲得のスキームをつくる構想である。自治体はカブジチとの地方創生に関する協定と地元での人材・活動場所などを紹介するものである。

この構想は佐賀県みやき町ですでに展開されているとのことであった。

今回の講師が市長経験者ということで講義の中にもあったが、市の職員は日々の業務におわれ、こうした他市の先進事例等の情報収集をする余裕がないことが多い。だからこそ、私たち議員は上記の全国的な課題に対する取り組みには他市の状況等も調査し、行政に提案する必要がある。